



ボランティアの たまご

NO.190
9月号

編集・発行／四日市市ボランティアセンター 令和3年 8月20日発行

活躍中のボランティアさんの声をお届け!!

ボイス

VOICE

「人のためにも自分のためにも
ボランティア活動を」



かとう よしひろ

今回は加藤 昌弘さん

災害時に市と連携して基地局をつくり、情報収集・発信を行う『四日市市アマチュア無線ボランティア』、防災・減災啓発活動を行う『NPO法人みえ減災啓発支援ネット』の代表で、日本赤十字社のボランティアとしても活動。被災地に向き、泥出しや物資の運搬を行うなど、県内外で災害に関わる活動に尽力している。

Q. ボランティア活動を始めたきっかけは何ですか？

日本赤十字社が募集する無線ボランティアに応募したのがきっかけです。もともと趣味でアマチュア無線を使っていたので、資格を活かして災害時に情報収集や伝達をするお手伝いができればと始めました。四日市市でも無線ボランティアの団体を立ち上げ、災害時に対応できるよう日々訓練に励んでいます。他にも、『NPO法人みえ減災啓発支援ネット』を立ち上げ、学校で土鍋を使った炊き出し訓練を行うなど、防災・減災啓発活動を行っています。

Q. 活動の中で大切にしていることは何ですか？

子どもたちや住民の皆さんにお話しする時は、できる限り分かりやすく伝えることを心がけています。防災のことをよく知らない人でもまずは興味を持ってもらいたいと思っています。また、仲間とのつながりも大切です。アマチュア無線には全国のネットワークがあり、東日本大震災の時には被災者が活用できる県内の住居情報を伝えたり、道路状況を無線で確認しながら物資を届けたこともありました。つながることで助け合えると実感できました。

Q. 活動の魅力はどんなことですか？

人のためにも自分のためにもなることです。無線は趣味の延長なので楽しさもありますし、防災について教えることは、自分の学びを深める機会にもなります。コロナ禍になってからは集まることが難しくなったものの、オンラインで県外の仲間とつながり、勉強会や意見交換をするようになり、新たな気づきや発見もありました。

Q. 最後に一言！

人はひとりでは生きていけません。助けたり、助けてもらったり…共助の関係が必要だと思います。何事もやってみないと分からないので、まずは一歩踏み出してほしいです。

GO! GO! とこわか大会

三重とこわか大会
応援企画☆

今秋開催予定の 三重とこわか大会。今回は実施競技『フットベースボール』を紹介します！

知的障害のある選手が出場できる競技です。1チーム9人制で実施され、男女の区分はありません。ルールは一般のソフトボールを基本としていますが、バットやグローブは使わず、投手がサッカーボールを転がし、キッカーがそれを蹴って競技します。



特徴的なルールとして「停止球」があります。投手がピッチャーズサークル内でボールを保持している時には試合が停止となりランナーは塁を離れることができません。また、走塁中のランナーは元の塁に戻らなければなりません。

【開催場所】 志摩市 「長沢野球場、長沢多目的広場」 (志摩市阿児町神明1537)



ボランティア募集

◆障害者スポーツのお手伝い

依頼団体：エンジョイSSピンポンクラブ
 日時：令和3年9月5日（日）
 13:00～16:00 ※13:00現地集合
 行事名：SSピンポン練習会
 場所：ヘルスプラザ2階 軽運動室
 持ち物：動きやすい服装、上靴、タオル、飲み物
 備考：ヘルスプラザ卓球使用料280円
 （中学生以下140円）
 申込締切：9月3日（金）



◆ボランティアニュース封入のお手伝い

依頼団体：四日市市ボランティアセンター
 日時：令和3年9月22日（水）
 13:30～15:30 ※13:30現地集合
 場所：四日市市総合会館3階 社会適応訓練室
 申込締切：9月21日（火）

お問い合わせ・申込は、四日市市ボランティアセンターまでお願いします。状況によっては、中止の場合もあります。



サマーチャレンジ

～オンライン企画～ Part 2

先月号で紹介した、オンラインを活用しての高齢者施設利用者さんと学生さんとの交流企画。今回は当日の様子を紹介します。

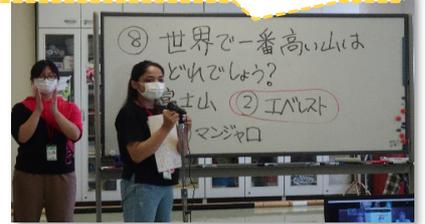


童謡に合わせて、足踏みや手拍子♪



旗挙げゲームで使った旗は、学生さんたちの手作り！

見やすいようにクイズの問題文をホワイトボードに書きました！



学生さんの声

利用者さんがゲームに楽しそうに参加する姿を見ることができて、嬉しかった。自分も楽しかった！

ルール説明が分かりにくかったかも…。今後同じような機会があればもっと練習して、より楽しんでもらえるようにしたい。



利用者のみなさんはゲームや体操と一緒に身体を動かしたり、大きな声やジェスチャーでクイズに答えたりして参加。その様子を見て、最初は緊張していた学生さんも、笑顔で取り組んでいました。

施設職員さんの声

学生のみなさんが一生懸命に考え、実施してくれたことがよく分かる内容でした。利用者さんたちも、学生さんとの交流を楽しんでいましたよ。楽しい時間をに共有するというのが、お互いにとって良い影響があったのでは、と思います。



サマーチャレンジで初めてのオンライン企画。学生のみなさんが一生懸命取り組む姿は頼もしく感じました。オンライン企画に取り組んだユマニテク医療福祉大学校介護福祉学科のみなさん、ご協力いただいた特別養護老人ホームうねめの里のみなさん、ありがとうございました。

*その他のボランティア募集や助成金情報、イベント・講座情報はホームページにも掲載しています。

フェイスブックページも随時更新中！「いいね」を押してね！ URL: <http://yokkaichi-shakyo.or.jp/home/02/> ⇒⇒⇒



「はじめてのボランティア説明会」のお知らせ

「ボランティアってよくわからない」という人も参加OK！一緒に自分に合った活動を見つけていきましょう！

日程：9月 7日（火）10:00～11:30	10月 5日（火）10:00～11:30
9月14日（火）19:00～20:30	10月12日（火）19:00～20:30
9月25日（土）13:30～15:00	10月30日（土）13:30～15:00

※参加ご希望の方は事前にボランティアセンターまでご連絡ください。

※状況によっては中止の場合もあります。



*「ボランティアのたまご」に関する問い合わせ・申し込みは、ボランティアセンターまでお願いします。
 *「ボランティアのたまご」を掲示していただける場所や、置かせていただける場所を募集しています。

心当たりの場所がございましたらご紹介ください。

ボランティア活動をはじめたい人、ぜひボランティアセンターまでお問い合わせください！

四日市市ボランティアセンター 住所 〒510-0085 四日市市諏訪町2-2(四日市市総合会館2階)
 TEL 059-354-8144 FAX 059-354-6486 E-mail y-vc@m3.cty-net.ne.jp



「ボランティアのたまご」は、
 赤い羽根共同募金配分金を財源
 として作成しています。